

ニヌファブシ

首里城下町クリニック^{第二}・那覇西クリニック・那覇西クリニックまかび

共同発行情報誌
vol. **26**
2022



「ニヌファブシ」とは沖縄の方言で北極星の意味です。「ていんさぐの花」にも歌われるように灯りのない昔、人々は北極星を道しるべにしていました。そんな北極星のように、那覇西、首里城下町、両クリニックが地域に根ざし、皆様から慕われるような病院でありたいという思いがこめられています。

Information magazine **“NINUFABUSHI”**

Dr. 研太郎 理事長就任あいさつ

伝統の継承と世界一の 那覇西クリニックへの躍進



文/
那覇西クリニック
理事長
玉城 研太郎 先生

2011年10月に沖縄県に帰ってきて11年となりました。2011年の那覇西クリニック就任のあいさつで私は「那覇西クリニックが開院100年で世界一の、アメリカのメイヨークリニックを越えるような世界に誇るクリニックにしたい」とお話をさせて頂きました。那覇西クリニックは1996年5月に玉城信光、照喜名重治両先生によって開設され四半世紀が経過しましたが、間違いなく着実に“世界一のクリニック”に近づいていると実感しているところです。

さて医療における世界一、素晴らしい医療機関とは、恐らくその定義は人それぞれ千差万別、考えは多様であると思います。ダイバーシティ(多様性)が尊重される社会において、それぞれの考えが多様であることはとても良いことだと思いますし、十人十色の「世界一素晴らしい医療機関」像(目標)があるとするならば、私でしたら「全部やっちゃえばいいじゃん」と、社会に利することでしたら「できない」を前提に議論を進めるのではなく、「出来るために何が必要か」という概念の元で一步を踏み出し、明確なビジョンと明確なロードマップで進めていけたらと思っています。これは父親のマインドをまさしく継承した形で、父親同様極めてポジティブシンキングでクリニックを皆様と一緒に躍進させていきたいと思っています。

多様な意見に耳を傾けて医療を行う、ということは大変重要なことですが、私自身決して風見鶏でもなくノンポリシーでもなく、私自身がクリニックに対してどのようなビジョンを持っているのか、ということもまた重要だと思います。「伝統の継承と世界一の那覇西クリニック」この四半世紀で乳

腺診療を始め様々な分野で沖縄県の医療を牽引して参りました。最新のエビデンスに基づく医療を行い、治験や臨床試験、医科学研究などの未来を見据えた医療を推進してまいりました。長年培われてきた手術手技の継承、極めて質の高い画像診断、そして忘れてはなりません、患者さんの治療や生活によりそった看護体制や事務体制、治験コーディネーターのサポートなどなど、治療に関するお困り事、生活に関するお困り事、仕事や育児、行政サービスなどのお困り事、心的なお困り事に寄り添ってまいりました。スタッフの皆様の今までのご尽力に頭が下がるばかりで、引き続き今まで培ってきた那覇西クリニックのカラーを継承し、そして更に質の高い医療・看護に努めていけたらと思います。次の10年20年100年をどのような体制を構築してまいりましょうか。東西1000キロ南北400キロの沖縄県の広大な医療圏を限られた医療資源でカバーをすること。ICTやWebを含めた新しい情報通信技術を使った沖縄モデルの医療の均てん化Projectを進めてみたいと思います。婦人科領域やメンタルサポートの体制の構築、そして気軽に様々なお悩みが相談できる「まちなか“がん”よりどころProject」もやってみましょう。アジアの中心沖縄県の地の利を活かしたアジア地域との医療連携体制を構築し、OISTやアカデミアとの産学官連携Projectにも力を注いでまいりたいと思います。

10年後20年後100年後の那覇西クリニックや沖縄県の医療はどうなっているのかな?今まで以上のご支援を、皆様どうか宜しくお願い致します。

那覇西クリニック 10年勤続・20年勤続表彰



勤続20年、高江洲睦代看護副師長(看護師)
ステキ～(*ω*)♡



勤続20年、長濱初美さん(看護師)
チャ～ミング～♡



勤続10年、玉城研太郎先生(医師)
父と息子の貴重なツーショット



勤続10年、新垣美羽さん(CRC)
みんなのアイドル☆彡



勤続10年、柳田奈穂子さん(看護師)
ナイススマイル!



勤続10年、神谷麗奈さん(放射線技師)
ビューティフル～!!



勤続10年、長浜謙太さん(医事課)
那覇西一筋!!

表彰状とお花のプレゼントをしました。



勤続10年・20年表彰おめでとうございます。

ピンクリボン沖縄2021 inパレット久茂地前



玉城先生、今年も頑張りました!!

薬局長はい、ポーズ!



謙太くんと小橋川さん
ピンクのTシャツ似合ってる。



嘉数さん素敵です!



上原先生お疲れ様です。



Pink Ribbon Okinawa

研太郎先生、
息子さんありがとう。



ソーキ(早期)が一番



今回も、コロナ感染のため縮小での開催でした。次回こそは、コロナが収束しみんなで、笑顔でピンクウォークしたいですね。



パレット前で全員集合!

受けよう
受診!



10月は乳がん検診受診の推奨月間です

那覇西クリニックの新人紹介



一緒に
頑張ろうね~!



医事課(まかび) 野底 綾実さん

今年2月から医事課勤務させていただいています。1日でも早く仕事を覚えられるように、頑張っていきたいとおもいますのでどうぞよろしくお願いいたします。



開院当初から清掃担当しております上原秀子さん。73歳おめでとうございます!

古希おめでとうございます。毎日透析室を綺麗にしてくれてありがとうございます。これからもよろしくお祈いします。
透析室主任 久保田

お誕生日おめでとうございます。そして開院当初から院内をきれいにお掃除していただいております。これからもお体に気を付けてよろしくお祈いいたします♡
看護師長 山城

お誕生日おめでとうございます。施設内の事や患者さんの事、いつも気にかけてくれて感謝しています。体に気を付けてまだまだ一緒に頑張りましょう。
医事課主任 久手堅

朝早い仕事のおかげでいつも私たちも、気持ちのいい1日が始められています。ありがとうございます。
検査主任 安里

73歳のお誕生日おめでとうございます! 朝早くからいつも、院内をキレイにしてくれてありがとうございます。これからも?少しは休んでほしいですが、一緒に頑張りましょう。
病棟主任 高良

本院がきれいで、スタッフが安心して仕事ができるのは、ひでこさんのおかげです。『緑の下の力もち』いつも感謝しています。
XP主任 松崎



古希おめでとうございます! 優しい人柄とお世話好きな秀子さんはみんなのお母さんの存在。いつもありがとうございます。これからもますますお元気でいてください! ね!
まかび主任 具志川

秀子さん♡ 毎日、那覇西クリニックをきれいにして頂きありがとうございます。健康第一です!
看護副師長 高江洲

ヒデ子姉さんおめでとうございます。いつもでも若々しい♡ヒデ子さんで...!!これからも那覇西をよろしくお祈いいたします。
病棟主任 嘉数

遺伝性乳がん卵巣ってなに!?



乳癌の7~10%遺伝性と考えられており、そのひとつが、『遺伝性乳がん卵巣がん(HBOC)』です。HBOCの方はBACA 1 もしくは 2 という遺伝子に生まれつき病的な変化があることをいい、乳がん・卵巣がん・前立腺がん・膵臓がんなどの発症のリスクが高いことがわかっています。HBOCかどうかの検査は採血で行います。

この検査はこれまで保険診療扱いではなく、実施の場合全額自己負担で、高価な検査となっていました。2020年4月より適応条件に該当すれば保険診療で検査が受けられるようになりました。

また、再発や健側(がんになっていない側)の乳がんの発症や卵巣がん発症を防ぐのに予防的切除が有効であることがわかり、乳房・卵巣の予防的切除も保険の対象となりました。



では、どんな人が保険診療適応なの?

▶ これまでに乳がんと診断された方で

45歳以下の発症

60歳以下でのトリプルネガティブ乳がん

両側乳がん、2個以上の原発性乳がん

3親等以内に乳がんまたは卵巣がんを発症した血縁者がいる

男性乳がん

遺伝性乳がんがご心配の方は主治医にご相談ください



わたしのロータリー活動



首里城下町
クリニック第一
田名毅 院長

皆さん、ロータリークラブをご存じでしょうか? 簡単に説明しますと、地域の異業種の方々と親睦を図りながら、奉仕活動を考え実践する国際的な社会奉仕団体です。私は那覇東ロータリークラブに入会し今年で10年目を迎えます。今年以下取り組みに力を入れていますので紹介致します。

(1) 地区RYLA委員会委員長

那覇東ロータリークラブは国際ロータリーの第2580地区に所属しています。この地区は東京北半分の60クラブと沖縄の11クラブで構成されています。活動の柱の一つに青少年奉仕部門というものがあります。高校生のインターアクトクラブの奉仕活動支援、(2)で紹介する青少年交換留学制度、そしてRYLA(ライラ)があります。ライラはRotary Youth Leadership Awardの頭文字をとっています。20-30才の若い大学生~社会人に3泊4日合宿を行ない、一人ひとりの中にあるリーダーシップが芽生えることを支援する取り組みです。今年度私が地区RYLA委員会の委員長として、2023年の2月23~26日に国頭村の「やんばる学びの森」でセミナーを開催する責任者となっています。現在東京から15名、沖縄から12名の27名が参加することが決まっています。一番のハイライトは、受講生が8~9人のグループに分かれて、2日間夜通しで一つのテーマをとことん議論し発表し合うフォーラムです。私は過去にグループの指南役であるカウンセラーを2回務めたことがあります。若者が年齢、立場を超えて真剣に語り合う姿には胸を打たれるものがありました。コロナ禍、万全を期して開催したいと現在準備中です。

グループの夜通しディスカッションの様子



(2) 青少年交換留学生のカウンセラー

コロナ禍で2年間中断していたロータリークラブの青少年交換留学制度が再開されました。この制度は世界各国の高校生と日本の高校生を交換で1年間留学させる制度です。留学先では出身の国について自分の考えをしっかりと伝えねばならないことが課せられ、「小さな親善大使」とも称されています。今年沖縄カトリック高等学校からフィンランドに一人留学していますが、その交換でリアナさんという18才のフィンランドの高校生が沖縄に留学に来ています。現在、昭和薬科大学附属高等学校の1年生に編入しています。



ロータリー例会の時の挨拶の様子

私は彼女が留学する間のカウンセラーを務めており、彼女や彼女のホストファミリーが困った時の相談相手になっています。今はSNSが便利ですので、主にLINEでやり取りをしています。彼女はまだ日本語が十分ではないので私には英文が送られてきます。私はなるべく日本語(ひらがな)で返すようにしています。1年後に彼女がたくさんの人と交流し、友好を深め、沖縄の文化に触れ、日本語が堪能になってくれることを期待しています。たまにクリニックで東京にいる他の留学生たちとオンライン報告会をすることもあります。

背が高い彼女を見かけることがあれば、優しく日本語で声をかけていただければ喜ぶと思います。今回は医療以外の私の関心事・活動を紹介しました。この文章をお読みになり、ご関心がある方は診察の時にでもお声かけいただければと思います。

首里城下町クリニック アートミュージアム

SJC's ART MUSEUM

明るい日差しと元気のでる色調を取り入れつつも、安らぎを意識した院内。
そこには、2001年の開業当初から沖縄の工芸・美術作品を展示しています。

健康情報と併せ、院内にある美術品の素晴らしさをお伝えしたく、

この度『SJC's ART MUSEUM』を作成いたしました。

リーフレットとして院内に置いています。どうぞご覧ください。



城間 栄順「魚達の語らい」



知念 績弘「首里城」

紅型

沖縄の紅型は、古くは琉球王朝に献上する染物として創られ、戦後復興の中でその伝統を受け継いできました。首里近郊で紅型の再興に取り組んできたのが、有名な城間家と知念家です。田名院長の母方の祖母渡嘉敷貞子様は城間家に弟子入りし紅型作家となりました。当院の待合室には、城間栄順様の紅型が2点、知念績元様の紅型が1点、渡嘉敷貞子様の紅型が2点、そして貞子様の二男哲郎様の紅型が1点、展示されています。

「春・プリマヴェーラ」「ヴィーナスの誕生」渡嘉敷貞子

田名院長に聞いてみました。

終戦後、社会が復興していく中で耳鼻科医院を開業していた夫の妻として、また伝統的な紅型を学びながら沖縄の強い日差しの中で女性が引き立つ着物作りを目指し、女流紅型作家としての道を切り開いた作家のうちの一人です。後に知ったのですが、私の妻と娘が関わっている沖縄県のガールスカウト(当時はアメリカ統治下)の立ち上げにも祖母は関わり、女性の自立と社会参加に関わっていたようです。工房女性で初の個展を開いた時のコメントが祖母の立ち位置を物語っています。



「春・プリマヴェーラ」



「ヴィーナスの誕生」

【……こんどの作品から、いくらデザインを変えても、やはり紅型は紅型としての持ち味があることをお汲み取り願えれば、作者としてこれにすぎるものはありません。……】

クリニック内に展示されている2作品に祖母の紅型への熱い思いを感じます。

「聴こえる唄」シリーズ: コロスの唄 山城千佳子

映像作家山城千佳子さん(現東京藝術大学准教授)のお父様の主治医が田名院長。ご家族がお父様の異変に気づき、院長が電話でアドバイスを行って脳梗塞の早期対応ができたという感謝の気持ちから、東京都写真美術館に所蔵していた貴重な作品をクリニックに展示して多くの方々に観ていただきたいという山城さんの思いからお預かりしています(非売品)*「コロス/Choros」は古代ギリシアの合唱隊を意味しています。

「撮影場所は糸満市の平和祈念公園ガジュマルの木の下
そこには今も昔も生きてきた他者の記憶が生暖かく息を残し何かを語り続けている…聴こえてくる唄を、聞こえてくる声を、地響きのような残響を聴く」 山城 千佳子(2010年11月)



「聴こえる唄」シリーズ: コロスの唄



「敢為邁往」

「敢為邁往」城間ハツエ

この書は「敢為邁往」(かんいまいおう)と書かれています。この熟語に込められた意味は「たとえ達成することが難しい大変な目標に対しても勇気をもって邁進していく」という内容です。院長の座右の銘を通院中の書家城間ハツエ(紅玉)さんが書いてくださいました。

「円カトレア、芭蕉、蘭」具志英子

第一クリニック20周年を記念してクリニックからの贈与品(2021年)です。院長に思いを聞いてみました。「欲しいものを聞かれたので“大きな掛け軸を”と希望しました。昨年のコロナ禍、感染対策を考慮して映像による20年の歩みを職員間で鑑賞しました。初心に帰り自然と謙虚な気持ちになりました。心ひとつに地域医療に邁進していきます。」



「円カトレア、芭蕉、蘭」

「嘉瓶」迎里正光

第一クリニック10周年を記念して職員一同からの贈与品(2011年)です。

沖縄県では、首里・那覇の上流階級の間で祝事のある家に祝儀用に泡盛を詰めて贈る瓶を「嘉瓶(ゆしびん)」と言っていたそうです。泡盛ではなく職員の気持ちが詰まった1品です。当時10周年を記念して、患者様にはティーパーティで感謝の気持ちを伝え、職員とは親睦会を行いました。



「嘉瓶」

第39回 沖縄県人工透析研究会

大成功!!

例年3月に開催されている沖縄県人工透析研究会は新型コロナウイルスの影響により2年間、通常の形で開催ができませんでした。その間はリモート配信を用いて状況に応じた感染対策を取りながら開催されておりました。

そして去った2022年3月、首里城下町クリニック第二の比嘉啓院長を本大会長とし、十分な感染対策を取りながら2年ぶり通常開催として進行されました。そこで、大会長として「非常事態と透析医療」を演題とし、講演を行いました。医療従事者同士お互い顔を合わせ、他施設と情報交換も行うことで有意義な研究会となりました。



大会長
比嘉 啓 院長

当院から
4演題を発表しました。



【発表者】
田名 毅 院長

【演題】
九州医師会災害地域に
おける透析患者広域避難
訓練について



【発表者】
新川 桂一朗
(臨床工学技士)

【演題】
エコ一下穿孔
シミュレーターの使用経験



【発表者】
柴田 幸世
(臨床工学技士)

【演題】
COVID-19対策に
おける感染対策委員会の
取り組み



【発表者】
亀谷 広美
(看護師)

【演題】
当院における新型コロナ
ウイルス対策と経過報告

最後はみんなで集合写真を撮りました。
感染対策の観点からマスクをしていますが、みんな笑顔です 😊



30演題ある一般演題から、当院の職員柴田技士の演題が優秀賞を受賞しました!



首里城下町クリニック
SHURI JOKAMACHI CLINIC

健康情報の発信

コロナ渦の新しい

クリニックの基本理念「地域の方々の健康保持を考えた、より正確かつ有用な健康情報の発信に努めます」に基づく、「地域むけ医療講演会」が、新型コロナ感染拡大のため一時は中止しておりました。そこで、健康情報発信の新しい取り組みとして、令和2年7月からクリニックの外壁に健康標語を掲げております。 ※現在地域むけ医療講演会は、YouTube配信へと形を変えて実施しております。

【基本理念】

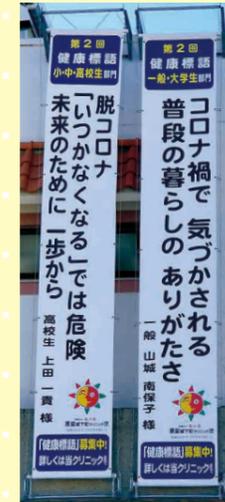
地域に根差した
医療に貢献する

【診療理念】

- 1.患者がいつでも安心して通院できる「かかりつけ医」を目指します。
- 2.総合病院や他専門病院との良好な連携により、個々の患者様にあった医療の提供を目指します。
- 3.お気軽にお身体のことをご相談できるように、患者様の考え方を尊重した診療を心がけます。
- 4.地域の方々の健康保持を考えた、より正確かつ有用な健康情報の発信に努めます。



第1回



第2回



第3回



第4回



第5回

健康標語は令和4年10月をもって第6回となりました。「大学生・一般」と「小・中・高校生」の2つの部門があり、年に2~3回をめぐり、患者さまやそのご家族、近隣の小・中・高の生徒さま、夜のクリニックを開放して行っている「町の自習室」利用の皆さま等よりご応募頂いております。クリニック内に設置している申込用紙、ホームページから応募できます。集まった標語からスタッフ全員で選びクリニックの外壁に掲げています。クリニックお越しの際は掲げた健康標語を、ぜひご覧ください。



選ばれた方には「健康グッズ」をプレゼントしています

第8回 健康標語

4月中旬
掲示します

募集 しています!

- 募集期限:3月31日(金)まで
- 応募方法:所定の健康標語申込用紙、またはホームページのメールから

下記必要事項を、用紙に記入し、クリニック窓口または設置BOXに提出してください。(メールで応募する方は、メールに必要事項を記入してください。)

- ①氏名
- ②住所・電話番号
- ③健康標語
- ④ペンネーム(任意)

※大学・一般部門と小・中高生部門があります。
※当番にはお名前も掲載します。(ペンネーム可)
※標語は短い文章でお願いいたします(五・七・五等)
※標語が選ばれた方には「健康グッズ」を差し上げます

ニヌファブシ 広報委員紹介

首里城下町クリニック

謝花 尚美

比嘉 裕也

与那嶺 貴子

川上 千恵美

與儀 雅代

山川 康恵

中山 恵理子

那覇西クリニック

泉川 涼子

松竹 美香

鎮西 敏子

新垣 美奈

編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか。
 コロナ禍の3年間、発刊に向けた打ち合わせは電話やメールでのやり取りを強いられていましたが、今回初のオンライン開催が実現できました。画面越しではありますが、皆でやっと顔を合わせることができ相談や段取りが円滑に行えました。
 これからも那覇西クリニックと首里城下町クリニック双方のスタッフで連携をとりながら、皆様への情報発信に努めていきます。

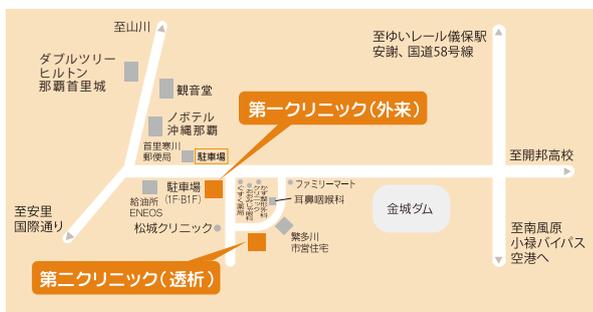


infomation

医療法人 麻の会 首里城下町クリニック

第一クリニック (外来)
 腎臓病・高血圧症・リウマチ・
 膠原病・糖尿病・循環器疾患・
 その他内科一般

第二クリニック (透析)
 血液透析 (外来)



第一

〒902-0062 那覇市松川3丁目18番30号
TEL.098-885-5000
 FAX.098-885-5007

受付時間 月・火・水・金 8:30~11:30/13:30~17:00
 木 曜 日 8:30~11:30/13:30~16:00
 土 曜 日 8:30~11:30/午後休診

休診日 日曜・祝祭日・年末年始・慰霊の日・旧盆 (ワーク)

<http://www.shuri-jc.jp>

第二

〒902-0071 那覇市繁多川3丁目5番18-4号
TEL.098-833-1001
 FAX.098-833-1006

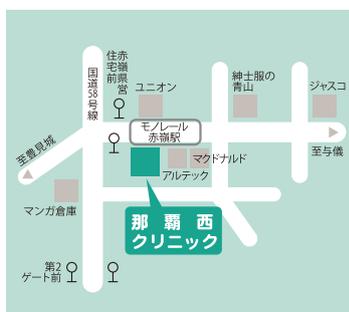
受付時間 8:30~17:30

休診日 日曜

※月・水・金は夜間透析も行っています。

医療法人 那覇西会 那覇西クリニック

内科・外科・胃腸科
 人工透析・乳腺外来
 甲状腺外来



〒901-0154 那覇市赤嶺2-1-9
TEL.098-858-5557
 FAX.098-858-5552

受付時間 8:30~11:30/13:30~17:00

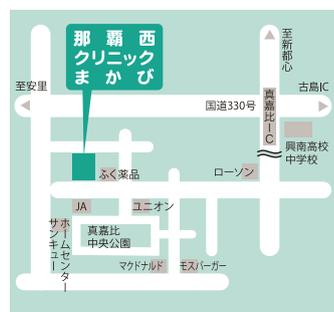
木曜日 8:30~11:30

休診日 日曜・祝祭日

<http://www.naha-nishi-clinic.or.jp/>

医療法人 那覇西会 那覇西クリニックまかび

乳腺・甲状腺外来



〒902-0068 那覇市真嘉比2-29-22
TEL.098-884-7824
 FAX.098-884-7820

受付時間 8:30~11:30/13:30~17:00

木曜日 8:30~11:30

休診日 火曜日・日曜・祝祭日